



スマトラ沖大地震及びインド洋大津波 被災者支援活動・最終報告書

2006年2月
現在



2004年12月26日にインドネシア・スマトラ島沖での大地震とそれに伴い発生したインド洋での大津波により、15万人以上の死者と数百万人に達する被災者が出てしまいました。この未曾有の災害に対し、平和を願う長崎からも支援を行いたいと、被災地出身の長崎在住の外国人の方々や協力し、県内の多くの団体に呼びかけ被災者支援のための協議会を組織しました。結果多くの団体・個人の方の協力を得ることができ、総額400万円を超える義援金を集めることが出来ました。



この義援金は206万円ずつインドネシア及びスリランカに送金し、それぞれ長崎とつながりを持つ下記NGOを通して活用されています。今回両NGOより、この義援金から奨学金をもらう子どもたちの情報が届きましたので、ここにご報告致します。



巨大津波によって荒らされたスリランカの海岸付近



長崎大学中部講堂でのチャリティーコンサートでの風景

インドネシアのNGOであるPMAJが現地では被災した子どもたちの支援を行っています。PMAJ 長崎支部代表 工藤 崇

インド洋大津波被災者支援のための協議会

長崎国際交流塾・長崎大学留学生協会・(財)長崎県国際交流協会・時津町国際交流協会・長崎外大 MALAIKA・シャブラニール長崎・(特活)長崎県ボランティア協会・長崎大学留学生課・長崎総合科学大学留学生会・SAMADY9・BOAT・長崎青年海外協力協会・長崎県日中親善協議会・東山手「地球館」

問い合わせ:

長崎国際交流塾・東山手「地球館」 牛嶋洋一郎
Tel:095-822-7966 email: chikyukan@h2.dion.ne.jp

スリランカのNGO団体である日本ランカ望み奨学金基金では現在大津波で被災し支援を必要としている子どもたちに奨学金を支給しています。
NLNS 長崎代表 C.R.HERATH

| 名称 | 金額 | 名称 | 金額 |
|-----------------|-----------|---|-----------|
| 浜町街頭募金 | 262,094 | 時津町国際交流協会、長崎居留地ネットワーク、日中親善協会、佐代の子の会・シャブラ、長崎総合科学大学学内募金、長崎外国語大学・MALAIKA、やすひウマンスクリニク、「107+1〜天国はつくるもの」長崎上映実行委員会、氣楽家、ホロヤカ、A I ナガサキ、琉球民謡、長崎支部見舞金、長崎県パドミンティレディーズ連盟、県民ボランティア活動支援センター募金、長崎県青年海外協力協議会、マレジャー募金 | 297,720 |
| 長崎大学留学生協会 | 585,146 | その他個人 | 18,900 |
| 長崎船舶整備社員募金 | 50,261 | 合計 | 4,118,669 |
| BPW長崎クラブ | 58,253 | | |
| 長崎市役所 | 1,661,473 | | |
| 長崎経済同友会 | 64,000 | | |
| 東山手「地球館」 | 293,634 | | |
| 国際交流塾 | 200,000 | | |
| 運聖院 | 120,000 | | |
| (社)長崎青年会議所 | 67,623 | | |
| 長崎県公立高等学校PTA連合会 | 200,000 | | |
| 緑中校区育成協西町支部 | 55,081 | | |
| チャリティーイベント | 184,484 | | |

長崎市役所や長崎大学留学生協会等長崎県内の様々な団体や個人の方々の協力で募金活動、チャリティーイベント等によりたくさんの募金を集めることができました。この義援金はインドネシアとスリランカのNGO団体を通して現地の子供たちの教育を支援するために当てられます。

長崎からの義援金で、奨学金を受け取るように決まったインドネシアの子どもたちの一覧表 Scholarship Awardee's List Funding from NAGASAKI

小学生 28名 月額 ¥1,060 (90,000ルピー)
中学生 21名 ¥1,295 (110,000ルピー)
高校生 14名 ¥1,530 (130,000ルピー)
大学生 7名 ¥2,120 (180,000ルピー)



合計 70名 1年間上記奨学金を支給

瓦礫を重ねたものを机にして勉強する子どもたち



教室で行われた授与式の様子
文房具を渡しているのは
ジャヤワルダナさんと、長崎の浜町で
一緒に街頭募金をした方です。



スリランカ南部の被災地 Matara 地区にある小学校。奨学金授与式の後の記念写真。手に持っているのは文房具で、奨学金は毎月銀行に振り込みます。

